

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
社会理論と社会システム		必修 (社.精) 選択 (理.作.心)	2	1.2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
松崎 昇	B303	noboru.matsuzaki	木曜 13:00~15:00		
授業の目的・概要	<p>【目的】本科目の目的は2つある。すなわち受講生は、</p> <p>1) 社会福祉士・精神保健福祉士共通の試験科目「社会理論と社会システム」対策として、Text を学ぶ。</p> <p>2) とともに、社会学的な考え方を身に付け、現実的な社会的諸問題を考察できるようになること。</p> <p>【概要】</p> <p>1) Text を学ぶ。[課題学習を通じた授業]</p> <p>2) 社会学史・社会学体系を学び、Text で学んだ知識が学史・理論体系のどこに位置するのか理解する。[同時双方向型授業]</p> <p>3) 現代社会の諸問題について考察する。[Report 課題]</p>				
学習上の助言	前半は Text をしっかりと読み込むこと。 後半は学史・理論体系をしっかりと理解し、Text 各部分が両者のどこに位置づけるのか理解すること。				
教科書	『社会理論と社会システム』/ 社会福祉士養成講座編集委員会編 / 中央法規				
参考書	必要に応じ授業中に紹介する。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	Text を通じて社会の仕組みを理解する。		HSU(2) (3) (5)		
②	社会学史・社会学について説明できるようになる		HSU(2)(5)		
③	現代社会の諸問題について、自分で考察できる。		HSU(1)(4)(6)、社精心(1)		
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	本科目の趣旨や授業への取り組み方を理解し、Report 課題を出す。	課題送付・提出・Feed Back	本科目の趣旨を理解する。昨今の News から社会問題を1点取り上げ、指示に従い、Report を書く。	2	
2	Text 序章を学び、Report 課題を出す。	課題送付・提出・Feed Back	Text 序章を読む。 社会学史上の1人を取り上げ、指示に従い、Report を書く。	4	
3	Text 第1章の第1～3章 (社会システム、法と社会システム、経済と社会システム) を学び、Report 課題を出す。	課題送付・提出・Feed Back	Text 第1章の第1～3節を読み、Feed Back されたものを整理する。	4	
4	Text 第1章の第4～5章 (社会変動、人口からみた社会変動) を学び、Report 課題を出す。	課題送付・提出・Feed Back	同第1章の第4～5節を読み、Feed Back されたものを整理する。	4	
5	Text 第2章 (生活のとらえ方、家族、地域) を学び、Report 課題を出す。	課題送付・提出・Feed Back	同第2章を読み、Feed Back されたものを整理する。	4	
6	Text 第3章の第1～3章 (社会的行為、社会的役割、社会集団と組織) を学び、Report 課題を出す。	課題送付・提出・Feed Back	同第3章の第1～3節を読み、Feed Back されたものを整理する。	4	
7	Text 第3章の第4～5章 (社会的ジレンマ、社会関係資本と社会的連帯) を学び、Report 課題を出す。	課題送付・提出・Feed Back	同第3章の第4～5章を読み、Feed Back されたものを整理する。	4	
8	社会学史その1 (A. Comte～T. Parsons) を学ぶ。 とともに Text 第4章 (社会問題のとらえ方、日本社会と社会問題、共生社会と権利) を学び、Report 課題を出す。	同時双方向型授業	同第4章を読み、Feed Back されたものを整理する。	4	
9	社会学史その2 (現象学的社会学・象徴的相互作用論・エスノメソドロジー; J. Habermas, N. Luhmann, A. Giddens, P. Bourdieu) を学ぶ。	同時双方向型授業	指示に従い、前回・今回の授業の内容に沿った Report を書く。Feed Back されたものを整理する。	4	
10	社会学の方法(個人と社会、主観と客観)を学ぶ。	同時双方向型授業	指示に従い、授業の内容に沿った Report を書く。Feed Back されたものを整理する。	4	
11	社会学の体系その1 (行為論) を学ぶ。	同時双方向型授業	指示に従い、授業の内容に沿った Report を書く。Feed Back されたものを整理する。	2	
12	社会学の体系その2 (家族論・地域論・組織論) を学ぶ。	同時双方向型授業	指示に従い、授業の内容に沿った Report を書く。Feed Back されたものを整理する。	2	
13	社会学の体系その3 (全体社会論) を学ぶ。	同時双方向型授業	指示に従い、授業の内容に沿った Report を書く。Feed Back されたものを整理する。	6	

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

14	社会学の体系その4（社会変動論）を学ぶ。	同時双方向型授業	指示に従い、授業の内容に沿った Report を書く。Feed Back されたものを整理する。	6			
15	これまでの授業内容をまとめる。	同時双方向型授業	指示に従い、授業の内容に沿った Report を書く。Feed Back されたものを整理する。試験対策も行うこと。	6			
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照のこと。						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		30	50	0	0	20	100
総合 力 指 標	知識・技術力	10	0	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	10	20	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	10	20
	問題を発見・解決する力	10	10	0	0	0	20
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	レ	全問記述試験を行う。 論述文の量と質を問う。 主語と述語が対応していない文、誤字脱字がある文、判読困難な文、等は減点となる。			要点を示す。	
	②	レ					
	③	レ					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	レ	論述文の量と質を問う。 主語と述語が対応していない文、誤字脱字がある文、判読困難な文、等は減点となる。			Comment を付け返信する。	
	②	レ					
	③	レ					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	レ	毎回提出するリアクションペーパーの内容を評価する。			疑問点に応える。	
	②	レ					
	③	レ					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>第1～7回には、主に Text 順次通読を前提とした Report を課す。</p> <p>第8～15回には、Teams を用いた同時双方向型授業を行う。Power Point 視聴・同時双方向行為等があるので、通信容量無制限の Wi - Fi 環境の確保を勧める。</p> <p>今後の情勢によっては授業内容・シラバスの再度の変更もありうる。その場合には事前に通知する。</p>							